

BORDERLESS IR CO., LTD

ANNOUNCES NEWSLETTER

株式会社ダイキアクス(4245 東証1部)
2021年12月期第1四半期決算概要

2021年5月19日東京

2021年12月期第1四半期は増収減益。新中期経営計画「PROTECT x CHANGE」を策定。企業使命である「環境を守る。未来を変える。」を推進

決算概要

○当第1四半期連結累計期間の同社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響で引き続き低迷した状況が続いている。

○このような状況下、2021年2月に2021年度から2023年度における新中期経営計画「PROTECT x CHANGE」を策定した。コーポレートスローガンである「PROTECT x CHANGE」をメインテーマにすることで、あらためてグループ全社員がこのコーポレートスローガンを深く理解・体現し、グループとして一体感を持って企業使命である「環境を守る。未来を変える。」を推進する。

この新中期経営計画では、コロナウイルス感染症の影響によって定量目標は単年度目標のみ策定しており、定性目標は、前中期計画を踏襲し、今後も推進、引き続き成長戦略としている。具体的には、環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水エスコ事業の拡大、住宅機器関連事業セグメントにおいては、ECビジネスを開始する等、安定事業から成長事業へ転化、再生可能エネルギー関連事業セグメントにおいては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化、ポストFIT高付加価値事業・商材の発掘を行い、全社では、IT戦略を実現するための組織強化、生産性向上ツールとしてITを活用していく。

○第1四半期連結累計期間の売上高は98億78百万円(前年同四半期比3.0%増)となった。土木工事業を営んでいた株式会社DADを前第2四半期連結会計期間末に売却したことから、売上総利益は20億41百万円(前年同四半期は20億42百万円)、営業利益は4億49百万円(前年同四半期比-10.5%)、経常利益は4億95百万円(前年同四半期比-8.9%)、税引前四半期純利益は4億98百万円(前年同四半期比+8.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億77百万円(前年同四半期比1.4%減)となった。

○環境機器関連事業は、浄化槽・排水処理システムの売上高は前年同四半期と比べ増加。国内売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による設備投資需要の減少はあるが、大型案件の受注によって増加した。海外売上高も新型コロナウイルス感染拡大による景況悪化の影響を引き続き受けている。ストックビジネスについては、浄化槽および排水処理メンテナンス事業は前年同四半期と同水準で推移したが、上水事業エスコ収入については顧客の使用水量減少等により前年

同四半期と比べ減少した。結果、環境機器関連事業の売上高は51億72百万円(前年同四半期比+2.6%)、セグメント利益(営業利益)は、4億81百万円(前年同四半期比-3.9%)となった。

○住宅機器関連事業は、建設関連業者等売上は、体育館冷房設備など環境配慮型商材やホームセンターの改修案件などの大型の案件の影響によって大きく増加した。住機部門工事は設備投資需要の消極化の影響のある中、冷凍・冷蔵設備売上については大型案件の影響によって増加したが、農業温室関係および外壁工事の売上が減少したことにより、全体では減少。ホームセンターリテール商材は、前第1四半期連結累計期間においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりメーカー製品の出荷が滞ったことにより納品が遅延した影響があったが、当第1四半期連結累計期間においては供給に支障がなく大きく増加。ECビジネスにおいても新型コロナウイルス感染症の影響によってエンドユーザーへの現地調査等の営業活動が停滞した。結果、住宅機器関連事業の売上高は43億63百万円(前年同期比+9.5%)、セグメント利益(営業利益)は、1億97百万円(前年同期比+59.8%)となった。

○再生可能エネルギー関連事業は、太陽光発電に係る売電事業において、2018年度よりDCMグループの店舗屋根を賃借して発電施設を建設し、固定価格買取制度(FIT)を利用した売電を実施。当第1四半期連結累計期間末日において130件(前年同四半期末日は126件)の系統連系が完了し、売上高は増加。その他、バイオディーゼル燃料事業及び小型風力発電機関連事業は、前年同四半期とほぼ同水準で推移。また、太陽光施設の修繕費用として7百万円を計上したことにより、増収減益となった。再生可能エネルギー関連事業の売上高は、1億83百万円(前年同期比+11.6%)、セグメント利益(営業利益)は、29百万円(前年同期比-1.9%)となった。

○その他の事業は、土木工事業において、株式会社DADを前第2四半期連結会計期間末に売却したことにより売上高は大きく減少した。家庭用飲料水事業は、水道直結型のウォーターサーバーの契約者数の増加によって堅調に推移した。この結果、その他の事業は売上高1億58百万円(前年同期比-60.4%)、セグメント利益(営業利益)は28百万円(前年同期比-55.1%)となった。

株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部) (<http://www.daiki-axis.com/index.html>)

2021年12月期第1四半期決算短信については、こちらをご参照ください。

→<http://www.daiki-axis.com/ir/info/index02.html>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

Borderless IR 株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

TEL 03-4588-6706 担当: 福田 徹

お問い合わせ <http://b-ir.co.jp/japanese/contact.php>

Borderless IR は、国内・海外向けIR情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な

強みを主としてニューズレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外IR支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。